2025 10 vol.139

ヨコハマよみうり
Yokohama Yomiuri

■発　　行／横浜読売会
■発 行 日／毎月5日
■発行エリア／横浜市内全域
■制　　作／ヨコハマよみうり編集部
〒231-0021
横浜市中区日本大通7
日本大通7ビル4F YBP
https://yokohama-yomiuri.co.jp

1977年生まれ、横浜市出身。桐蔭学園高等学校の硬式野球部に所属、元巨人・高橋由伸の2年後輩。2008年高校野球を舞台にした『ひゃくはち』で作家デビュー。同作は映画化、コミック化され、ベストセラーに。15年『イノセント・デイズ』で日本推理作家協会賞（長編および連作短編集部門）を受賞、20年『ザ・ロイヤルファミリー』でJRA賞馬事文化賞・山本周五郎賞を受賞。25年『アルプス席の母』で本屋大賞2位。その他の著書に『小説王』『笑うマトリョーシカ』『八月の母』『さらば！　店長がバカすぎて』など。

今月スタートするTBSテレビ日曜劇場『ザ・ロイヤルファミリー』（主演：妻夫木聡）の原作者、横浜出身の小説家・早見和真さん。伝えたいことがあり、作品が生まれるという。伝えたいのは「目を向けられることのない真実」。もっと、もっと伝わってほしいという作家の魂の叫びが聞こえてきた。

坂道の街　横浜

横浜で育ちました。緑区、旭区、青葉区と暮らしましたが、横浜って、坂の街だと思うんです。ちょっと路地を入ると「こんなに下って上るなら、まっすぐ行かせてくれ」という坂道だらけで。昔はそんなところが苦手だったけれど、ノスタルジーを抱える年齢になると、あの坂道の感じがいいなと。若いころデートでよく行ったのは山手の丘の上にある喫茶店「エレーナ」。それこそ坂道を上って通いました。

大人になって東京・伊豆・松山……と暮らしました。娘が物心ついたころから「12歳までは僕の思うところで暮らすけれど、中学は世界中の学校から自分で選びなさい」と伝えていました。けれど実は山手に根を下ろしたいという思いがあり、それとなく「フェリスがいいぞ」と吹き込んでいて（笑）。結局娘は違う街の学校を選び、今は家族で都内に暮らしています。今でも原稿を書いていて煮詰まるとなぜか横浜の空気を吸いたくなり、ふらりと横浜へ車を走らせることがあります。

物を書いて生きていく

小学生のころ、少年野球チームで無敵のピッチャーでした。将来を有望され、のちの母校にスポーツ推薦で入学。ゆくゆくはプロ野球選手になるんだと、自分の人生に絶対的な自信がありました。

その自信が打ち砕かれたのは中学2年生の春。隣にあった高校のグラウンドで、その春入学してきた高橋由伸さん（元巨人の選手）の練習を見た時に、「ああ、プロになるのは俺じゃない。彼のような人だ」と思い知ってしまった。由伸さんはそれほど別格でした。心底傷つき、練習しても伸び悩むようになりました。

高校でも野球は続けましたが、夢は砕け散り、この先自分はどう生きていくのかと悶々とする日々。強豪校だったので毎日のように新聞記者が取材に来ていて、彼らの仕事ぶりを見るうちに、自分が記者になれば彼らには負けないのではないかと漠然と思ったんです。生意気な高校生ですよね（笑）。けれども、それが物を書いて生きていくことを意識したきっかけでした。

人生をかけたデビュー作

野球は高校までで封印。大学生になり「本を読むこと」を自分に課し、その中で沢木耕太郎さんの影響を受け、バックパック一つで世界中を回りました。遠いと感じたマダガスカル、長く滞在したインド、銃を突き付けられたブラジル、いつか暮らしたいと思ったチリ……。雑誌社に記事を売り込み、旅行資金にあてました。

大学7年生で就職活動をし、新聞社から内定をいただいたものの留年して取り消しに。落ち込んで2カ月も引きこもっていたところ、以前お世話になった編集者が声を掛けてくれたのです。終電で会いに行くと、新聞記者になりたかった理由を問われ、それまでは呑みに行ってはバカ話ばかりしていたのが、この時初めて書くということについて語り合い、野球での挫折を打ち明けました。すると「全人生をかけて、その体験を小説にしてみれば」と。それが高校球児を描いた『ひゃくはち』、僕のデビュー作です。

目には見えない真実

小説を書くことはインタビューすることと同じ。その人を知りたいという欲求です。この登場人物はどういう人間なのか、なぜそうするのかと頭の中で質問を続ける。そうやって人物を構築していきます。

作品を書くにあたっては、まず伝えたいテーマがど真ん中にあります。そのテーマがどんな物語なら、どんなキャラクターなら、どんな文体なら読者に伝わるのかを突き詰めていく。僕の今までの小説を紐解いていくと、伝えたいのは結局「目に映っているものは真実か？」ということ。先入観や固定観念に蹂躙されているだけで、実は真実は見えていないのではないか。目に見えているのは1%だよね、99%は見えていないよねと。それは横浜という街にも言えることで、「横浜」と聞いてイメージするのは1%の部分。99%は路地だらけで坂道だらけで。その99%に光を当てて書いていける作家でありたいんです。

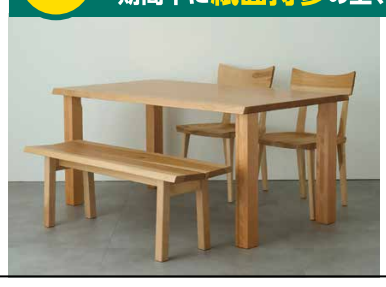
ザ・ロイヤルファミリー

書くことは常に苦しい作業です。ある時、編集者が「テーマにこだわらず、人生で楽しかったことを書いてみては」と。決して大金を賭けていたわけではないけれど、馬に魅せられた若い日の思い出。手持ちの最後の100円を使って馬券を買い、130円の電車賃を失い4時間かけて歩いて帰った鮮烈な記憶。そんな競馬の世界を書いたのが『ザ・ロイヤルファミリー』です。描いたのは馬たちの、人間たちの「血の継承」。自分自身が父親になったことも影響していたかもしれません。次世代に託すこと、託すだけではなく自分自身も懸命に生きること。そんな気持ちを込めました。ドラマ化されるにあたり信頼できるスタッフやキャストに恵まれて、主演の妻夫木さんも本当に真摯に作品に向き合ってくださって。ドラマが誕生することを素直にうれしいと感じています。

10月12日ドラマスタート！
『ザ・ロイヤルファミリー』
早見和真 著
（新潮文庫）990円（税込）

葉山家具

天然木の温もりをこれからの暮らしに
家具下取りフェア
2025年10月4日土～26日日
20万円以上（税込）ご購入で、引き取り料金無料（同等品）+1万円値引き ※当社配送エリアに限る（神奈川・東京・千葉・埼玉）
即日使用可
期間中に紙面持参の上、20万円以上のお買い上げで葉山券5,000円プレゼント！



京急上大岡店
横浜市港南区上大岡西1-6-1
京急百貨店7Fユニクロ横
10時～20時　㊡なし
045-848-7299

西武東戸塚S.C.店
横浜市戸塚区品濃町537-1
西武東戸塚S.C.店7F 久世福横
10時～20時　㊡なし
045-828-3171

みなとみらい東急スクエア店
横浜市西区みなとみらい2-3-2
みなとみらい東急スクエア①
1F ZARA近く
11時～20時　㊡なし
045-640-1710

東急百貨店たまプラーザ店
横浜市青葉区美しが丘1丁目7番地
東急百貨店たまプラーザ店4F
下りエスカレーター前
10時～20時　㊡なし
045-903-2296
公式HP